

(別紙1)

ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進事業
業務委託仕様書

1 委託業務の名称

ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進事業

2 委託業務の目的

東日本大震災及び原子力災害から14年が経過したものの、福島県、特に浜通りに対する風評は根強く残っている。また、令和5年7月から福島第一原発のALPS処理水の海洋放出が開始され、現時点では安全性が確保されているものの、県産海産物やそれを使ったグルメ、海水浴、サーフィン、海辺の体験コンテンツといった観光に対する風評の影響が懸念される。

このため、福島県浜通りの沿岸部を中心とした観光資源を掘り起こし「また行きたい」と旅行者が思う浜通りならではの海の魅力を高める「ブルー・ツーリズム」を推進し、浜通りへの観光誘客を促進させることを目的とする。

3 委託期間

契約締結の日から令和8年3月19日(木)まで

4 委託業務の内容

(1) 事業全体に関すること

・県が運営するWEBサイト等(表1)を最大限に活用した事業展開とすること。

<表1: 県運営のWEBサイト等>

	名称	媒体	URL
1	遊ぶ、楽しむ、シーサイド ふくしま浜通り	Instagram	https://www.instagram.com/fukushimabluetourism/
2	ふくしま 浜通り ブルー・ツーリズム	YouTube チャンネル	https://www.youtube.com/channel/UCeu71EsvDMrXc3Gs0yr6Hvg
3	あなたの旅がきっとある、 ふくしま浜通り	WEBサイト	https://hamadori-coast.com/

・夏のオンシーズンへの実誘客だけではなく、通年をとおした来訪意欲の喚起を目指す内容とすること。

- ・近隣県及び首都圏のミレニアル世代及びファミリー層をメインターゲットとした事業展開とすること。
- ・「浜通り＝海」というイメージを浸透させ、誘客へと繋げる事業展開とすること。
- ・旅行者目線による、浜通りの沿岸部を中心とした新たな魅力を発信できる企画内容とすること。

提案① 以下の課題を解決可能な提案内容とすること

- ・実誘客に結び付く戦略的な事業展開がなされていない。
- ・沿岸部を中心としたコンテンツの棚卸や新たな魅せ方ができていない。

(2) インフルエンサー招請に関すること

- ・本事業のターゲット層に対して、浜通りの海を軸とした観光資源を効果的にPRすることができるインフルエンサーを8名以上招請すること。招請にあたり、インフルエンサーの意見を十分に取り入れ、個性や感性を重視した展開とすること。
- ・インフルエンサーの選定にあたっては、候補者のプロフィール、広告・宣伝効果、実績等をまとめ、選定理由を明らかにすること。候補者については、エリアや属性等を考慮して、偏りが無いように選定すること。
- ・インフルエンサーによる情報発信については、本仕様書4(1)へ記載する公式アカウント等との連携を密にすること。
- ・招請に係る宿泊、移動、施設入場料等については全て本事業費より捻出すること。
- ・インフルエンサーから、浜通りの旅先としての強み・弱みなどのフィードバックを受け、その結果については関係事業者へ情報共有すること。

提案② 以下の課題を解決可能な提案内容とすること

- ・ターゲット層への共感と来訪意欲へ結び付く、効果的な招請ができていない。
- ・年間をとおした来訪意欲の喚起がなされていない。

(3) モニターツアーに関すること

- ・浜通りにおける「海」をテーマとした観光資材を体験するモニターツアーを2回以上開催し、15名以上の参加者を募ること。参加者には、浜通りの魅力や感想などを旅行者目線（一般消費者目線）で情報発信していただくことを参加条件とすること。
- ・行程については、1泊2日を原則とし、ターゲット層に合わせた新たな旅の過ごし方の提案となるよう魅力的なコンテンツを組み合わせること。
- ・ツアー終了後には、モニターツアーの参加者へアンケートを実施し、その結果については関係事業者へ情報共有の上、受入環境整備の改善へ繋げること。
- ・ツアーに係る宿泊、移動、施設入場料等については、全て本事業費より捻出すること。

提案③

- ・モニターツアーの具体的な方向性（行程、周知方法、費用対効果など）について提案すること。

(4) SNS キャンペーンに関すること

- ・浜通りの海に関する魅力を発信し、ブランド理解・促進へ繋げることを目的とした SNS キャンペーンを2回以上実施すること。実施に当たり、当事業公式 Instagram アカウントを活用し、延べ200名以上の参加者を募ること。
- ・キャンペーン実施にあたり、ターゲット設定に基づいた最適な配信素材、方法、スケジュール等を考慮した費用対効果の高い広告配信を実施すること。
- ・キャンペーンの効果検証について測定・分析し、その結果を報告すること。

提案④

- ・キャンペーンの具体的な方向性（時期、手法、費用対効果など）について提案すること。

(5) 公式 Instagram の運営に関すること

- ・浜通りにおける「海」をテーマとした観光資材の魅力を効果的かつ多角的に伝え、新規顧客を獲得できるようなアカウントの更新及び維持管理を行うこと。
- ・5月より投稿を開始し、週1回以上の通常投稿、月2回以上のリール動画投

稿を行うこと。なお、アカウントの周知状況を見ながら協議の上、最適な投稿回数を維持するものとする。

- ・投稿内容については、ターゲット層の興味関心を惹くようなコンセプトや構成とすること。
- ・投稿で使用する素材は原則、撮影等により収集すること。撮影に係る取材費等は本事業費に含めること。
- ・新規フォロワーの獲得を目的とした、効果的なWEB広告配信を展開すること。
- ・事業終了時の新規フォロワーの獲得数は1,500人を目標とすること。
- ・ユーザー目線での機能や情報量の精査を行い、月次報告をすること。

提案⑤

- ・アカウント運営の具体的な方向性（企画案、クリエイティブ案など）について提案すること。

※現アカウントの投稿デザインやプロフィールを変更することは可とする。

(6) メディアを活用した情報発信に関すること

- ・ターゲット層に対して訴求力の高いメディア媒体（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEB媒体など）をとおして、浜通りの海の魅力を1回以上発信すること。
- ・浜通りへの来訪意欲の喚起となるような、費用対効果の高い内容とすること。

提案⑥

- ・メディア媒体について、具体的な提案（媒体名、期間、プロモーション効果など）を行うこと。

(7) 調査・分析に関すること

- ・次年度における事業戦略について、9月末を目途に1回（中間報告）及び翌3月を目途に1回（最終報告）提案すること。
- ・事業戦略については、市場・顧客分析の他、競合分析、達成すべき指標など多角的な視点から提案すること。

(8) 関連事業との連携

浜通り全体での一体的な事業構築が必要であることから、別に示す「ホープツールズ拡充等推進事業（※1参照）との連携により、事業効果の最大化を図ること。

(※1) ①ホープツーリズム拡大推進事業（観光交流イベント・情報発信）

福島県浜通り地域は、豊かな自然や歴史・文化、食、アウトドアスポーツなど多彩な魅力に溢れた地域でもあることから、ホープツーリズムとの組み合わせにより、浜通りならではの魅力を発信し誘客につなげる「観光交流イベント」の開催や、WEB・SNS等による積極的な「情報発信・プロモーション」を通して、浜通りへの認知度と関心度を高め、誘客促進及びリピーター創出につなげる。

②ホープツーリズム拡大推進事業（キャンプ場を活用した誘客促進）

福島県浜通り地域等においては、首都圏からの近接性と海、山の恵まれた自然環境を活かした特色あるキャンプ場が多く点在している。また当地域は世界で類を見ない「複合災害（地震・津波・原子力災害）」を経験した唯一の場所であり、その複合災害の教訓等から「持続可能な社会・地域づくりを探究・創造する」福島オンリーワンの新しい学びの旅「ホープツーリズム」を体感できる場所である。この自然環境とオンリーワンのプログラムを融合する事業として、キャンプ場としての魅力の磨き上げと積極的な発信を行うとともに、キャンプを切り口として、自然がもたらす怖さと恵み、そして未来に向けた行動へと誘う「ホープツーリズム」への誘導を図り、浜通り地域への誘客を促進する。

③ホープツーリズム拡大推進事業（サイクルを活用した誘客促進）

浜通り等への誘客促進の取組として、官民約50団体で構成する「ふくしま浜通りサイクルルート推進協議会」（以下「推進協議会」という。）を設置し、ナショナルサイクルルートの指定も視野に入れ、走行環境や受入環境等の整備を重点的に進めてきたところであり、今後、推進協議会が主体となる持続可能なサイクルツーリズムの推進を図りながら、本県が世界に誇るサイクリングルートの魅力を国内外に発信することにより、サイクリストの誘客を促進し、交流人口の拡大を図ることを目的とする。

④ホープツーリズム拡大推進事業（ファンコミュニティサイトの運営）

ホープツーリズムの魅力や、民間旅行事業者が商品造成した一般観光客向けホープツーリズムに関する旅行ツアーの情報を収集し、WEBサイト及びSNS等デジタルを活用した適切な情報発信を行い、実際に福島に来て福島の実況を体感してもらうきっかけを提供することを通して、今の福島の実況を正しく理解してもらい、原子力災害で風評被害を受けている浜通り地域の風評払拭に繋げる。

(9) SDGsの推進

- ・本委託業務の実施に際しては、持続可能な開発目標（SDGs）の要素を踏まえた提案を行うこと。

(10) その他

- ・企画・調整、交通、宿泊、食事、施設見学、観光コンテンツ等の全行程における手配、取材先との調整等、一切の事務連絡業務を行うこと。
- ・ツアーでは様子を記録するための写真や動画等の撮影を行うこと。また、参加者に対し、撮影した写真はホームページ又はその他の広報資料等を使用する旨を伝え、予め承諾を得ておくこと。
- ・ツアー訪問先との事前打ち合わせ及び現地確認を行い、ツアー中は参加者及び関係者の安全確保を徹底すること。
- ・ツアー中の事故へ対応するための国内旅行傷害保険への加入等、万全な安全対策を講じること。

5 成果品

- (1) 業務実績報告書（事業実施に関する経過、事業成果に対する分析・課題の記載、持続的な取組とするための手立ての記載等）
- (2) 製作したツール等一式（動画データ、制作資料等）
- (3) その他、別途担当者が指示するもの一式

6 提出書類

乙は、委託契約書に定めるもののほか、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 契約締結後に速やかに提出するもの
 - ・委託業務着手届（様式第1：契約締結後速やかに）
 - ・統括責任者通知書（様式第2：契約締結後速やかに）
 - ・実施工程表（様式任意：契約締結後速やかに）
 - ・その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類
- (2) 業務完了後に速やかに提出するもの
 - ・委託業務完了届（様式第3：事業完了後）
 - ・成果品
 - ・その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類

7 統括責任者

乙は、本業務に当たって十分な経験を有する者を統括責任者として定めなければならない。

8 その他

- (1) 成果品一式の著作権及び所有権は、正当な手続きにより使用又は借用した第三者のものを除き、甲に帰属するものとする。
- (2) 本仕様書に基づく作業に関し、第三者との間に著作権に係る権利侵害の紛争等が生じた場合は、当該紛争の原因がもっぱら本県の責に帰す場合を除き、乙の責任、負担において一切を処理することとする。
この場合、甲は係る紛争等の事実を知ったときは、受託者に通知し、必要な範囲で訴訟上の防衛を受託者にゆだねる等の協力措置を講じるものとする。
- (3) 本業務の遂行にあたり、受託者は業務上知り得た事項を第三者に漏洩しないよう十分注意することとする。
- (4) 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に定める内容について疑義が生じたときは、甲と乙が協議の上、定めることとする。
- (5) ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と思われるものについては本業務に含まれるものとする。

福島県知事様

受託者 住所
名称
代表者

委託業務着手届

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務について、令和 年 月 日付で着手しましたので届け出ます。

記

1 委託業務の名称
ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進事業

2 委託料の額
金 円
(うち消費税及び地方消費税の額 円)

3 委託の期間
着手 令和 年 月 日
履行期限 令和 年 月 日

-----（以下、押印省略とした場合は必ず記載すること）-----

本件責任者（団体名・部署名）：
（役職・氏名）：
担当者（団体名・部署名）：
（役職・氏名）：
（連絡先）：

様式第2（仕様書6（1）関係）

令和 年 月 日

福島県知事様

受託者 住所
名称
代表者

統括責任者通知書

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務について、統括責任者を届け出ます。

記

- 1 委託業務の名称
ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進事業
- 2 委託の期間
着手：令和 年 月 日
履行期限：令和 年 月 日
- 3 統括責任者氏名

-----（以下、押印省略とした場合は必ず記載すること）-----

本件責任者（団体名・部署名）：
（役職・氏名）：
担当者（団体名・部署名）：
（役職・氏名）：
（連絡先）：

令和 年 月 日

福島県知事様

受託者 住所
名称
代表者

委託業務完了届

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日完了しましたので、届け出ます。

記

- 1 委託業務の名称
ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進事業
- 2 委託料の額
金 円
(うち消費税及び地方消費税の額 円)
- 3 委託の期間
着手 令和 年 月 日
完了 令和 年 月 日

-----（以下、押印省略とした場合は必ず記載すること）-----

本件責任者（団体名・部署名）：
（役職・氏名）：
担当者（団体名・部署名）：
（役職・氏名）：
（連絡先）：